

10-6. 暑熱対策実行計画の策定

事例 ルートヴィヒスブルク郡（ドイツ）

- **2022年7月より熱波対策行動計画（HAP : Heat Action Plan）を策定開始。**計8回の円卓会議開催、自治体や高齢者施設への現状調査等を経て、**2024年4月に行動計画を発表。**健康影響と死亡者数の削減、well-beingの向上、医療制度崩壊の予防、弱者層（高齢者等）の保護の4つを目的とする。
- バーデン=ヴュルテンベルク州において、郡レベルでは初めてとなるHAPである。

策定までのスケジュール

2022年	7月19日	キックオフ、第1回会議
	11月	高齢者施設調査
2023年	3月23日	第2回会議
	4月4日	コミュニティ健康会議でのHAP紹介
	3-5月	自治体調査
	5月3日	郡長へのHAP紹介
	5月15日	社会委員会でのHAP紹介
	5月24日	第3回会議
	5月25日	医療従事者へのトレーニング、HAPの紹介
	7月27日	第4回会議
	8月	アラームの試験運用・評価
	10月5日	第5回会議
	11月16日	第6回会議
2024年	1月25日	第7回会議
	4月	第8回会議、HAPの公表
	8月	高温アラーム発表
	8-11月	評価



「アラート・チェーン」を通じた情報提供

- アラート発表時には下図のアラート・チェーンを通じて、市民に適切な行動をとるよう通達が行われる。



(*RKH clinicsはドイツの病院グループの名称)

熱波時の停電への対応

- 熱波到来と停電が同時発生した場合は、郡で所有している空調付きバス（2台）を活用して、高齢者をクーリングシェルターに移送する計画。
- バスは、過去のSARS流行時に移動可能なワクチン接種施設として導入し、現在は使用されていないもの。